

12月 4日 武蔵中学生 七島イを学ぶ

くにさき七島産振興会の細田利彦事務局長と七島イ工芸士の岩切千佳さんを講師に招き、武蔵中学校の2年生が、国東市の特産品「七島イ」について学びました。細田さんの講話では、七島イの生産方法と歴史を学び、岩切さんのコースター作りでは、七島イの香りや手触りを体験しました。



12月 8日 大人になった自分へ メッセージを預ける



▲加藤教育長と松原風花さん

武蔵東小学校で2分の1成人式が開催されました。10年後に成人した自分へのメッセージを入れた封筒を児童代表が教育長に手渡しました。この取り組みは、成人式を担当する社会教育課が今年から始めたもので、教育委員会がメッセージを10年間保管し、成人式のときにお返しするというものです。今後、市内の全小学校で、随時行われます。

11月 19日 40年間の書道活動の 集大成を市に寄贈

安岐町在住の書家 荒木勝治郎さんが、市に2幅の書道の額を寄贈しました。寄贈された書は、荒木さんの書家活動の中で最も親しみのある万葉集と三浦梅園の漢詩の中から選んだものです。市に寄贈された書道の額は、アストくにさきと安岐中央公民館に展示されています。



11月 22日 桜吹雪く国東を目指して

夢咲き桜の会が、今回で5年目となる河津桜の植樹会を行いました。桜の苗木の配布を希望された団体へ贈呈した後、富来中学校跡地に会員など約40名で、30本の苗木を植えました。これまでの取り組みで、市内に植えられた桜の苗木の累計は、1,228本となりました。



11月 26日 清原米蔵さんが 緑白綬有功章受章報告

11月17日に東京都で開催された「農事功績者表彰式」で、清原米蔵さん（武蔵町吉広）が、緑白綬有功章を受章され、市長に受章の報告をしました。今回の受章は県内一の生産量や後継者育成などの功績が高く評価されたもので、シイタケ農家では県内初の快挙です。栽培50年の節目に新たな名誉を加えました。



12月 2日 くにさきオイスター 初出荷へ

武蔵町糸原にあるヤンマー株式会社の研究施設「ヤンマーマリンファーム」で、生食用殻付カキ（商品名：くにさきOYSTER）の出荷に向けてのお披露目会と試食会が行われました。平成25年度から試験養殖を始め、干潟と沖合の養殖を組み合わせる新方式の実証実験を進めてきました。市内の水産会社と漁協が養殖し、マリンファームが資材提供や技術指導、出荷を行います。4月までに60万個の出荷を見込んでおり、海外輸出や首都圏に販路を確立していくことを目指しています。



12月 13日 師走の武蔵を走る 菜の花マラソン

第9回菜の花カップマラソン大会（菜の花アスリートクラブ・市体育協会武蔵支部主催）が、武蔵川沿いのコースで開催されました。寒風の中、市内外の小中学生を中心に300名が参加し、2km、3km、5kmの部で健脚を競いました。

レース終了後は、元杵築東芝陸上部の塚本征寛さんの講演や抽選会が行われました。



12月 13日 県内の消防職員・団員が集結

アストくにさきで大分県消防大会が開催されました。会場には、県内から約500名の消防職員・団員が集まり、日頃の防火活動の功労表彰や、意見発表で、防火思想の普及啓発を行いました。



▲受章代表決意表明する松成道彦さん

